

# キリストがすべて

第158号 2018年7月10日発行



①



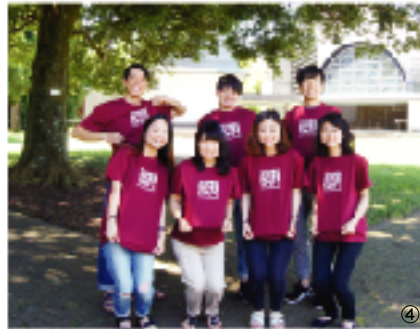
②



③



⑥



④



⑤

CONTENTS	Page
巻頭言	1
座談会	2
学生支援の新しい取り組み	
新入生証し	6
ニュース	8
卒業生インタビュー	10
財務報告	12
支援会ニュース	13
Information	16



- ① 神学校対抗ソフトボール大会優勝
- ② スプリングリトリート
- ③ ウェルカムランチ
- ④ ログデザイン決定
- ⑤ パイプオルガンさんこんにちは
- ⑥ スプリングリトリート

キリスト者であっても、私たちは生かされている時代や社会から多大な影響を受けるものです。とりわけ若い人たちは世相を映し出す鏡とも言われます。キリスト者であっても余り大差ないかもしれません。本学の歴史を振り返っても、時代と共に大きな変遷を経てきました。その時その時の事情で所在地も移って、学校の形態も変わってきました。昨今では、三校合同、四年制大学設置、大学院設置は、大きな転換点であったと思います。しかしながら、私たちがお仕える主なる神は、今も昔も変わることのないお方です。そして、神のみことばもキリストの福音も今も昔も変わることがないことも勿論、忘れてはなりません。イエスの直弟子十二人の筆頭であったペテロも書いているとおりです。「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種からであり、生きた、いつまでも残る、神のことばによるのです。『人はみな草のよう。その栄えはみな草の花のようだ。草はしおれ、

## 不易流行!?



大学院研究科委員長  
伊藤 明生

花は散る。しかし、主のことばは永遠に立つ』とあるからです。これが、あなたがたに福音として宣へ伝えられたことばです。」(ペテロの手紙第一・1章23節〜25節)

変化し続ける社会や時代から受け身で影響を受け続けることには問題があることは言うまでもありません。福音とは、良い知らせですが、まことの生ける神を知らない、知ろうとしない、この世がキリストの福音を拒んだとしても驚くことではありません。「したがってこの石は、信じているあなたがたには尊いものですが、信じていない人々にとっては、『家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった』のであり、それは『つまりさきの石、妨げの岩』なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからであり、また、そうなるように定められていたのです。」(ペテロの手紙第一・2章7節8節)とは言っても、社会の変化に伴い、新たな宣教戦略や伝道方策を考える必要もありません。



## 座談会

# 教職協働での

# 学生支援をめざして

# 霊性・人格・学び・生活を

# トータルに



ランドル・ショート  
副学長(グローバル担当)



立山 剛  
教務部・総務部職員。情  
報リテラシーの授業も担当。



(司会)大和昌平  
副学長(教育・学生支援  
担当)、神学部長



篠原基章  
准教授・男子寮主事



黒川未踏  
学長室・学生部・教務部  
職員として教育・学生支  
援を担当。



TCUでは「Stand in the Gap 破れ口」にキリストの平和を」を大学改革のコンセプトに据え、2018年度新入生を迎えるにあたり、これまでの学生支援の在り方を見直し、より学生の成長につながる支援を行うべく改革を行いました。今回はその取り組みの中心となって関わった教職員で、春学期の活動を振り返るため座談会を行いました。

\*\*\*

大和 今回は、特に学生支援ということ  
で話していきます。2015年4月の教  
職員退修会で廣瀬理事長が「流れを変  
えることにチャレンジしよう」と呼びか  
けられ、その年の秋から第一次神の国に  
仕えるプロジェクト(通称・神プロ)が始ま  
りました。そこからI-VII群まで各項目  
に分かれて、大学改革に取り組んでいま  
す。大学改革のコンセプトとして「Stand  
in the Gap 破れ口」にキリストの平和を」  
が2017年6月に決まりました。そこ  
では教職協働で取り組むことが重視さ  
れました。大学行政上は、教員は教育職  
員、職員は一般職員となっていて、両方と  
も職員なのです。今回も教職協働で学  
生支援について分かち合うのですが、一般  
職員は座談会に初登場となります。

篠原 教職協働での取り組みはとても  
新鮮でした。職員の方たちはTCUのこ  
とを真剣に考え、学生たちのことを本気  
で考えています。食堂スタッフも含め、こ  
んなにも学生たちのことを思ってくれる  
職員がいる学校はないと思います。TC  
Uの宝は学生だと思っていますが、職員の方  
々もTCUの宝だと感じています。神  
プロで、組織改編についての議論を開始し

当初、そもそも何のために組織を変えたのかが問われました。その中で浮き上がってきたのが「学生の成長のための組織改編」という目標です。それを目標に定め、教育・学生支援に関する具体的な検討を行ってきました。

**立山** TCUの教育・学生支援については、以前から高橋信希教務課長とよく話していました。話し合った内容をどのように提案し具体化していくのか思案していたところに神プロが始まりました。教育・学生支援に関する講演会などに参加して知った他大学の優れた取り組みを参考にしながら、TCUでの支援の形ができるよう神プロでは話し合ってきました。ある時、発達障がい学生支援のセミナーに参加する機会があり、職員は専門的な知識も大切だが、それよりもフットワークが大切であるという話に刺激を受け、教職員や学生の話を聴き、記録をとり、意見をまとめ、提案するといったフットワークをこれまで以上に意識し、教育・学生支援に取り組んできました。

**黒川** 学長室でチャペルの業務を担当していますが、チャペルの出席率を上げるために様々な取り組みをしてきました。その中で気が付いたのは、チャペルだけの問題ではないということです。私たちの目的はチャペルに学生を出席させることではなく、学生が霊性も知性も含めて全人格的に成長することです。TCUが掲げるキリスト教全人格教育を実現するためには、チャペルだけでなく、授業や寮

教育など、総合的に学生の成長に向けて取り組む必要があります。しかし、縦割りの組織の中で良い連携ができず、全体的な取り組みができていないことにもどかしさを感じていました。そんな中、神プロが始まり、教育・学生支援担当の副学長が置かれ、組織や人事の見直しもあり、各部署が連携して統合的な視点での学生支援とキリスト教全人格教育の見直しに取り組んでいく意識が高まって来たと思います。

**シヨート** キリスト教全人格教育や学生支援において各部署が連携することも大事ですし、教職協働という視点もとても大事だと思います。これまでもオリエンテーションなど教職協働で取り組んできたことはたくさんありましたが、特に最近はチャペルにも職員が出るようになり、小グループチャペルや祈祷日で職員も一緒に祈るなど、教員だけではなく職員も直接学生と関わる機会が増えました。学生にとって、職員が以前よりもさらに身近な存在になったと思います。それは学生にとっても良い影響を及ぼすと思います。

### 学生の目線に立った改革

**大和** そうですね。教職協働という意識は神プロを進めて行く中でずいぶんと強くなったと感じています。そして、今回学生支援に取り組む中で、学生へのインタビューも教職協働で実施しました。黒川さんは実際に学生の声を聞いてみていかがでしたか？

**黒川** インタビューは、大学の取り組みが学生たちの実際の必要とかけ離れてしまわないように、まず学生たちが大学生活でどのような課題を抱えていて、どのような支援を必要としているのかを把握するために行いました。インタビューを通してまず見えたことは、学生の多様性です。召し、背景、国籍、学力などが多様で、TCUに期待することや課題と感じていることが異なり、必要としている支援も異なります。ですから、一律に学生支援を検討することはとても大変だと感じました。その中でも共通の課題として見えたのは、学生たちがとても「忙しい」ことです。学生がもっと余裕をもって生活できるような大学で取り組む必要性を感じました。また、教育がアカデミックな内容に偏っていると感じている学生が多く、靈性の涵養、スピリチュアルフォーメーションの要素を教育に取り入れる必要や、メンターの存在が必要であることも見えてきました。

**大和** そういったことを踏まえて、オリエンテーションを見直していききました。学修と生活のガイダンスに加え、新入生の歓迎と信仰共同体の形成を目標にしました。礼拝で新入生や在学生の代表が話す機会を設ける工夫もしました。いかがでしたか？

**篠原** 新たな取り組みの一つの目玉として、オリエンテーション中の昼食を「ウェルカムランチ」とし、より意識的に新入生をウェルカムし、共同体に迎え入れるという

機会を設けました。初日はそれぞれの学科専攻の新入生同士と担当教職員が「コネクト」する機会、2日目はTCU共同体として新入生と在学生・教職員が「コネクト」する機会を小グループでもちました。今回のオリエンテーションの



ウェルカムランチでの教職員賛美

見直しを通して、私自身の意識が変えられたと思います。これまでも心掛けてはいましたが、今まで以上に学生に自分から声をかけるようになったと思います。



ウェルカムランチ



「リフレクシオン」

シヨウト 今年度も、年度の初めに行われる教職員退修会、入学式、そして二日間にとわたるオリエンテーションなどで忙しかったことには変わりはありませんでしたが、やりがいを感じました。やるなら楽しんでやろう！同僚の教職員と協力する喜びを味わおう！新入生のみならず、新たな気持ちで全学生に仕え、彼らとの交わりを楽しもうと決意したから

でしょうか。今年の年間テーマの副題は「友なるイエスに交えて」となっていますよね。小林前学長がよくおっしゃっていたように、私たちはキリストの友として召された者同士です。それでしたら、教職

員であれ、学生であれ、キリストの友情愛（フィア）をいただいた者として、お互いを喜び楽しみながら肩を並べて、積極的に神から与えられたそれぞれの仕事に取り組みたいと思いましたね。そこで、今回一番感動したのは、ウエルカムランチでの教職員による励ましの歌（God Bless You）と、それを見ている学生の姿でした。本当に祝福されたコミュニケーション・オブ・フレンズ・イン・クライストという雰囲気でしたね。

立山 全ての業務が学生の成長に直結すること、教職員が学び、試行錯誤しながら、教育・学生支援の取り組みにチャレンジすることを意識してきました。そのような教職員の姿勢が学生のロールモデルにつながると思っています。中でも長年課題として意識されていた学生と教職員のコミュニケーションの場をどのようにつくるか話し合うことを通して、オリエンテーションの改革や新しく「なんでも案内所」を実施するなど具体的な取り組みにつながっていきました。ITのオリエンテーションでは、学生が受け身となる二方向的な情報伝達を極力なくし、活動の中で理解できるようにプログラムを工夫しました。新入生はキャンパスツアーの形態でIT機器のある場所に移動しながら、大学にある情報機器を利用する体験を通して使い方を学びました。

黒川 「なんでも案内所」は、新入生が新しい学びと生活にスムーズに適應できることを目的に、中庭にテントを張り、オリエンテーション後の一週間実施しました。



なんでも案内所

履修登録や学生生活の質問などに応じるようにしました。教職員の協力を得てよい情報提供ができたと思いますし、とてもよい交流の場ともなりました。

大和 履修登録などの質問がひと段落すると、「どうしたら彼女ができますか？」などの質問を受けたりして、学生と教職員が交流するよい機会でした。昨年学長裁量経費プロジェクトとして行われたスベシヤル☆メドローグラス（学生と教職員の交流企画）も好評で、学生たちは教職員との他愛もない話が楽しかったようです。これは継続していきたいですね。

立山 新しい取り組みから分かったことは、学生には「教職員と雑談したい」とい

うニーズがあることです。学生と教職員のコミュニケーションを増やす様々な取り組みを行った結果、学生からも教職員の学生支援に対する本気度が伝わってきたと声をかけられましたし、授業の中でグループワークを行う場合でも学生があまりやすく活発に意見交換を行っている姿を見て、学びの姿勢にも良い影響を与えていることがうかがえました。

霊性の養い

大和 オリエンテーション期間中には、在学生向けに、主の前に一人一人が静まり、昨年度の歩みを振り返る「リフレクシオンタイム」を持ちました。

黒川 TCUの教育がアカデミックな方向に偏っているという意見がある中で、「リフレクシオンタイム」や祈祷日での静まりの時間など霊性を養う要素をもっと提供する必要がありますと感じました。また、学生の忙しさが課題となる中で、委員会やサークルなど活動することを通して学び成長することと、神様の前に静まる中で養われることのバランスをとることの大切さも育てることができれば良いと思いました。

大和 今年度のリトリートも、「コイノニアー共に交わり、共に味わう」がテーマで、講師の福田真理先生が共同体形成について聖書からいきいきと語ってくださいました。共同体を味わう、とても良いリトリートでした。



教職員退修会





スプリングリトリート

**黒川** 学生のインタビュの中でも人と関わるのが苦手な学生や、自分の時間を大事にする傾向が強い学生がいるように見受けられました。今回のリトリートは学生が「コイノニア」というテーマを設定し、キリストにあつて人と関わることや、キリストにある共同体の祝福について共に学びました。今のTCUにとって必要なテーマだったのかなと思います。学生・教職員とも学ぶことの多いリトリートでした。

**篠原** 学生の成長においてTCUの共同体は非常に大切です。人は一人ではなく共同体の中で成長するからです。そういう意味で、意識的にTCUという共同体を形成していけたらと願っています。TCUには寮教育という伝統があります。その伝統をTCU全体の枠組みで捉え直していくことも重要だと考えています。共同体について考えさせられたエピソードがあります。現在、TCUには車イスを使用している学生がいます。車イスを仲間が押してくれる度にその学生は「申し訳ない」という思いでいっぱいだったそうです。ある時、車イスを押ししてくれた仲間間に「ごめんね」と言ったそうです。するとその仲間は「これは私にとって恵みなんだよ」と答えたというのです。これを聞いて、共同体とはこういうことなのだと教えられました。

**大和** 「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」のテーマでもありますがね。ともに成長できることを課題にしたいと改めて思います。

### 共に成長するため

**シヨート** 私たちは皆、多くの人たちにTCUに来て学んでいただきたいと、多大なエネルギーを使って学生募集をしています。たとえその学びの期間が6年間、4年間、2年間、1年間、あるいは1学期という短い期間でも、学生を迎えこの学び舎で共に成長していただきたいと願っているわけです。私たちは学ぶ長さを問わず、二人一人の充実した学びを支援したいのです。しかし、ときに多様な学生を迎える時に「たいへんだ」という声も聞きます。私自身が時々こぼしている言葉かも知れませんが（笑）。確かにいろんな人を学期ごとに迎えることは文字通り「大変」、「大きな変化」になっています。しかし、「成長」を目標としているコミュニティにとっては、「大」きな「変」化の中で自分と違う人たちと共に生活することは、「破れ口にキリストの平和を」もたらす実践的な訓練であり、素晴らしい成長の機会になりますよね。

**大和** それもStand in the Gapですね。そのようなことを祝福として感謝できるように教職員を支援することも課題です。多様性を豊かさとして受け止めればTCUにしかない大学生活を作っていくと思います。ここで学生も教職員も育つことが大切ですね。Stand in the Gapで様々な課題に取り組む大学になっていきたいです。

**立山** 喫緊の課題は障がいのある学生や学力に課題のある学生をどのように共同体に迎え、共に成長していくのか、学生の声も聴きながら体制をつくっていくことです。そのような弱さや課題を抱える多様な学生が共に成長できる共同体がより豊かな共同体であると考えます。また、人格教育やリベラルアーツということが他の大学でも取り組んでいます。神様から学ぶというのはTCUの独自性であると思います。霊性の成長への理解を深めつつ、良い形で教育・学生支援に反映できればと思います。

**大和** 「霊的形成」を中心として大学教育を整えていくことはTCUだからこそできることだと思います。「霊的形成」を充実させていきましょう。

**大和** 「霊的形成」を充実させていきましょう。



オリエンテーションの一幕

2018年度

## 新入生の証し

2018年度は、57名の入学者を迎えて新年度をスタートすることができました。

新入生一人一人の学びと生活のために祈りいただけましたら幸いです。

[内訳]

神学部国際キリスト教福祉学科

【1年次12名、2年次編入2名】

神学科【1年次4名、2年次編入1名、

3年次編入11名、ACTS-ES6名】

大学院修士課程18名、

博士課程1名、

教会音楽専攻科2名

## 御入学おめでとうございます。



私がTCUをめざしたのは、TCUが掲げる「献身」の意味と教派を超えた多くのクリスチャンとの出会いとその寮生活の魅力に惹かれたからです。これまで、クリスチャンが理解されにくい環境で、友達に流され、御言葉に背いてしまう生活に息苦しく感じていました。進路に対しても悩みの中にいました。しかし、姉からTCUのことを教わり、TCUの情報を知る度に、自分の学びたいこと、学びたい場所に出会い、その大学生活に憧れを抱きました。TCU入学の道が備えられ、神学という初めて触れる学びは、神様から与えられた御言葉の理解を深めると同時に、イエス様を知る喜びとなりました。

ルカの福音書22章32節の御言葉から、神様ではなく、人を恐れ、イエス様の仲間であることを伝えられない弱い自分にもイエス様の祈りによって信仰がなくならない希望が与えられています。つまり、イエス様が立ち上がらせてくださるこの足で神様の救いの恵みを伝え広められるようTCUでの信仰の成長を望んでいます。

私は宣教師の娘として日本で生まれました。TCUに入学したきっかけは、高校生まで習っていた教科書がクリスチャンのための教科書だったので、聖書を学ぶことがすごく大事だと思ったからです。また、私が好きな聖書箇所は（ローマ人への手紙12章2節a）「この世と調子を合わせないでいなさい。」という御言葉です。一般の大学ではこの御言葉を守ることがむずかしいと思いました。また、今までは父や母が神様に仕えるのを見て育ちましたが、これからは両親のそばから離れて、TCUを通してもつと神様と深い交わりをし、神様に仕える人になりたいと願っています。

福祉学専攻に入った理由は、将来高齢者の相談心理学などを学び、高齢者の方々の精神面でのケアの働きをしたいと願っているからです。神様の助けを必要とする人たちのためにサポートし、この働きを通して神様を知らない人たちに神様を伝え、神様の栄光を現すことができる人になりたいと願っています。

神様は、人間の思いをはるかに超えて、御業をなされるお方です。

高校三年生になった春、私の中にはTCUに進むという選択肢は全くありませんでした。むしろ、自分のみ希望通りの進路に進むことを優先させ、心の内では「もし自分の願いの通りの道に進めるのなら、教会生活がおろそかになっても仕方がない。自分にとって必要な取捨選択だ。」と思っていました。しかし神様は、そのような私の道を閉ざされ、私を神様の元へと立ち返らせてくださいました。私が握っていた選択肢を、神様はあえて全て取り去られ、TCUに進むという新しいビジョンを与えてくださいました。

世間一般から見れば行くあてのない道を進んでいる現状かもしれないかもしれませんが、私が知らない私の将来を、神様はすでに知って、道を備えてくださる方であると確信しています。私の人生のハンドルを握ってくださいる神様を、TCUにおいてより深く学び、触れ、より信頼していく歩みにしていきたいです。



### 感謝

国際キリスト教福祉専攻  
1年次

永島 明日翔



### クリスチャンとして学ぶ

キリスト教福祉学専攻  
1年次

林 ハラ



### 入学に導かれた証

神学科  
1年次

朝岡 識



## 入学に導かれた証

神学科教会教職専攻  
3年次編入  
笠原 孝太

私が、献身の道をしめされ、学校を選ぶ段階に至った時、私の中にはTCUではない選択肢を持っていました。しかし、私は現在、TCUにいます。それはなぜか。一つには、牧師の勧めが理由としてありました。牧師に従順であることも信仰の二つのあり方だと思っただけです。しかし、それだけが理由ではありません。

もう一つの理由は、TCUの献身への考え方に共感を持ったからです。多くのクリスチャンが献身し、牧師・宣教師という考え方を持っています。私はそうではないと思っています。私が考える献身とは神様に仕えること。それは、賛美チームであれ、次世代教師であれなんでもです。

私は牧師になりたいと思っています。しかし、様々な方法で神様に仕えようとする兄弟姉妹と共に学び、交わり、生活すること。私が求めていた神学校生活を100%できると思ったので、この学校への入学を判断するに至りました。



## 入学まで導かれた証

教会音楽専攻科  
駒村 弘子

私は38歳の時に初めて聖書を読みました。マタイの福音書6章の主の祈りのことばから人がどう祈るべきか、まただれに祈るべきであるかを聖書から教えられ、主を口で告白する者へと変えられました。高校から音楽を専門に勉強しましたが、もう一度キリスト者として大学で学びたいという願いを持つようになりました。受洗後手探りで音楽の奉仕をしたがら神様に喜ばれる音楽とはどの様なものなのかと考えるようになり、教会に仕える者としての音楽・礼拝理解を深めて神学も学べる場を具体的に祈りました。またそれが自己実現のためではないか、神と教会に仕えるためであるのかと悩み考えてきました。が、受験までの準備が守られて教会音楽専攻科に入学することがゆるされました。

教会を愛し共に教会に集う者たちと心を動かして主を礼拝するために、そして音楽の持つ素晴らしさをより一層表せるみことばの礼拝を捧げるために、気負うことなく学びたいです。



## TCUに戻って来て

大学院(修士課程)  
神学研究者・教育者コース  
宮崎 契一

私は2005年にTCUの国際キリスト神学を卒業した後、所属教派の神学校で学び、奈良県の教会で10年近く牧師として仕えました。また、牧会の傍ら、出身の神学校でも少し教えてきましたが、再び学びの必要を感じるようになり、今年の4月にTCUの大学院に入学しました。

大学生だった20代の時とは違い、少しおじさんになったなあと感じていますが、この10年間牧師として教会に仕えることがゆるされた経験は私にとつととても大きなものでした。厳しさのある現場に仕える経験を経て、大学生の時とは全く違った思いで、今TCUでの学びの生活を送っています。

TCUは聖書を中心とした学びはもちろん、オルガンなどの器楽や、スポーツも含めて、やる気があればいくらでもそのためのツールが提供されている場所だと思っています。

私は特に、福音主義を掲げるTCUで聖書を学び直したいと思っています。そして、やがて再び教会に仕える中で、ここでの学びが用いられることを願っています。



## To be a servant of God

大学院(博士課程)  
Ph.D.コース  
小山 顕

この度、大学院博士後期課程(博士)への入学が許され心より感謝しております。私は、牧師の孫、子どもとしての自身の育ち、アメリカでの学び(臨床心理学)、また現在奉職する大学での教育・研究活動、そして様々な教会におけるミニストリー従事者との多くの出会いを通じて、健全な教会の建て上げについて、特に、牧会者をはじめとする働き人の霊的・人格的健全性と、そのケアのあり方について強く関心を抱くようになり、福音主義信仰、神学を基盤とした視座からより深い研究を行いたいと願いました。

敬愛する諸先生方をはじめ、皆様との交わりと学びを通して、学術的な理解を深め、真理の追求を進める研究者として成長できるよう、また次世代の「献身者」を育成する教育者として整えられるよう、そして何より私自身が主なる神に自らを捧げ、人々に仕える主の僕として日々新たにされていくことに大きな期待を抱いています。



## パイプオルガンさん こんにちは Vol.18 報告

TCU教会音楽主任  
宇内 千晴

5月12日(土)ゲストにオーボエ奏者の尾崎温子さん、300人を超えるお客様をお迎えして「パイプオルガンさん こんにちは Vol.18」が行われました。今年は親しみのある曲をたくさん演奏したためか、いつも以上にたくさんの方がアンケートにご記入くださいました。アンケートには「『ふるさと』に涙した」が最も多く、次に「このようなコンサートの回数を増やして欲しい」、「『アメージング グレース』に天を仰いだ」、「赤ちゃんや小さな子どもと一緒に楽しむことが出来て嬉しかった。是非続けて欲しい。」と記されていました。もう一つ嬉しかった反響は、コンサート直後に大学にあった電話でした。「高校生の時に洗礼を受けたが、結婚後は礼拝からも遠ざかっていた。また礼拝に行こうと思う。」というものでした。ご参加、ご協力くださいました方々、背後でお祈りくださった方々に心からの御礼を申し上げます。

## 2017年度 TCU卒業生の 進路先

キャリア支援室

2017年度は、学部38名(神学科24名、国際キリスト教福祉学科14名)、大学院19名の卒業生・修了生を送り出しました。

今年度は昨年度と比較すると就職希望者が多い年でしたが、就職希望者については、昨今の厳選採用が続く中で多くの就職内定を得ることができ、地の塩世の光として社会に送り出せることは本学にとって大きな喜びでありました(学部就職内定率95.2%・進路決定率94.7%【5月1日現在】)。就職先は、私立学校、語学学校、郵便局、商社、児童養護施設、介護支援施設等の多様な分野に遣わされました。7月卒業の留学生についても企業合同説明会への積極的な参加の奨励等、きめ細やかな支援体制を整えています。一方、教会や宣教団体へ派遣される学部卒業生が3名、大学院修了生が15名おります。また、本学大学院、神学校、神学大学大学院への進学者は18名おり、伝道と牧会への情熱と実践力を身につけ、次世代の教会を建てあげる働き人として期待しています。

## 新刊 紹介

稲垣久和教授の新刊が4月に刊行されました。

### 『キリスト教と近代の迷宮』

大澤真幸/稲垣久和 著  
春秋社  
定価:2,000円+税

現代思想の尖端をひた走る社会学の鬼才と物理学出身の異色のキリスト教哲学者が、西洋近代誕生の謎と現代日本の根本問題に挑む! 原罪が生みだした近代科学、キリスト教と資本主義の本当の関係、和魂洋才という嘘、日本人が敗戦を直視できないわけ、北朝鮮への対処法。歴史と思想の照応が生み出す真の洞察が、日本社会の歪な近代化への処方箋を示す。  
(春秋社の紹介より)



## コンセプトロゴ決定

大学改革のコンセプトとして定めた「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」のロゴデザインが決定しました。デザインは本学卒業生のホンダマモル氏が手がけ、提案された4パターンの中のデザイン案の中から学生、教職員の有志で1つを選びました。

ホンダ氏は今回のデザインについて、次のようにコメントしています。

「英文は手書き風のフォントで、オリジナリティのあるデザインを考えました。STANDに着目し、破れ口で様々な苦難の中で上を向いて神を見つめ、キリストの平和をもたらす者として立ち続けるキリスト者のイラストも加えました。ユニークで愛着を感じていただけるデザインです。」

今後、本学では様々な媒体にこのロゴマークを使用し、破れ口に立ち、平和をもたらし、神の国を建て上げるため、教育と学生支援に取り組むというコンセプトを学内外に浸透させていきたいと願っています。

卒業生ホンダマモル氏がデザイン

STAND IN THE GAP  
破れ口にキリストの平和を



破れ口にキリストの平和を



### ホンダマモル氏プロフィール

1973年生まれ。埼玉県出身。2000年TCU神学科卒。画家としてイラスト展示会「ヒトリコテン」を開催し作品を発表。どこかつかなく、そして観る人全てにあたたかいキモチを届ける作品を生み出し続けている。https://www.blackfrogs.net

今年の夏もさまざまなインターンプログラムや課外活動が行われます。キリスト教福祉学専攻の介護福祉士国家資格のための介護実習、国際キリスト教学専攻の必修科目である海外語学研修と異文化実習、そして伝統行事である夏期伝道。その他にも、大学院生の教会インターン、専攻科のインターンや学部生の企業等へのインターンシップ、各教団・団体の夏期キャンプ奉仕などもあります。実践を通じて、学生たちが飛躍的に成長する夏となりますよう、また各プログラムの安全のためにお祈りください。

## 2018年度 キリスト教福祉学専攻 介護福祉実習

決定実習施設名	日程	参加学生
筑波キングス・ガーデン特別養護老人ホーム	7/9～7/24	2年生2名
特別養護老人ホーム はなみずき	7/4～7/20	2年生1名
障害者支援施設 アガペะ番館	7/9～7/25	2年生1名
特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ	7/9～7/24	2年生2名
障害者支援施設 誠光園	7/9～7/24	3年生2名
生活介護事業所 工房マナ	7/9～7/24	3年生2名
常総ふれあいの杜:筑波キングスガーデン	7/9～7/24	3年生1名
NPO法人 ホットスペース中原	7/9～7/24	3年生1名
知的障害者支援施設 もくせい園	7/9～7/25	3年生1名

## 海外語学研修

期 間 8月24日～11月19日  
 研修先 オーストラリア Intensive English Language Institute (フリンダース大学付属語学学校)  
 参加学生 8名(7名国キ専攻2年生7名、神学科2年生1名)  
 研修内容 英語集中プログラム受講(2週間のボランティアプログラムを含む)  
 現地の家庭にホームステイし、生活を通して体験的に異文化理解を深める。

## 異文化実習

### フィリピン異文化実習

期 間 7月9日～8月3日  
 研修先 フィリピン  
 参加学生 5名(国キ専攻3年生)  
 研修内容 FHフィリピンのChild Focused Community Transformation (CFCT)の働きを手伝う。  
 コミュニティ訪問や家庭訪問を通して現地の文化と社会について学ぶ。  
 子供集会の企画等を行う。

### カンボジア異文化実習

期 間 7月11日～8月10日  
 研修先 カンボジア  
 参加学生 1名(国キ専攻4年生)  
 研修内容 NPO法人 GLOBE JUNGLEで子供に日本語を教える。  
 現地ホームステイ先での生活。  
 GLOBE JUNGLEスタディープログラムに参加する。

## 夏期伝道2018

2018/7/7～7/16

【テーマ】 *Christagram*～キリスト映え～

【テーマ聖句】 「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。」 マタイ5章16節

今年も日本各地の教会に学生主体のチームで伝道活動を行う夏期伝道を行います。今年は例年より多い13教会へ72名が派遣されます。また、祈りのメンバーとして20名がこの期間祈りに加わります。各チームの働きのためにお祈りください。

### 派遣先教会(計13教会)

日本同盟基督教団	勿来キリスト福音教会(福島県)
日本同盟基督教団	グリーンヒル福音教会(埼玉県)
日本福音キリスト教会連合	昭和町キリスト教会(山梨県)
日本福音キリスト教会連合友好教会	沼津港町教会(静岡県)
日本基督教兄弟団	名古屋緑福音教会(愛知県)
同盟福音基督教会	津島佐織キリスト教会(愛知県)
日本福音キリスト教会連合	北方キリスト教会(岐阜県)
日本同盟基督教団	古川教会(岐阜県)
聖書教会連盟	門前聖書教会(石川県)
単立	恵みバプテスタ教会(富山県)
日本福音自由教会協議会	クライストコミュニティチャーチ(兵庫県)
日本バプテスタ教会連合	新家バプテスタキリスト教会(大阪府)
日本聖約キリスト教団	笹沖聖約キリスト教会(岡山県)

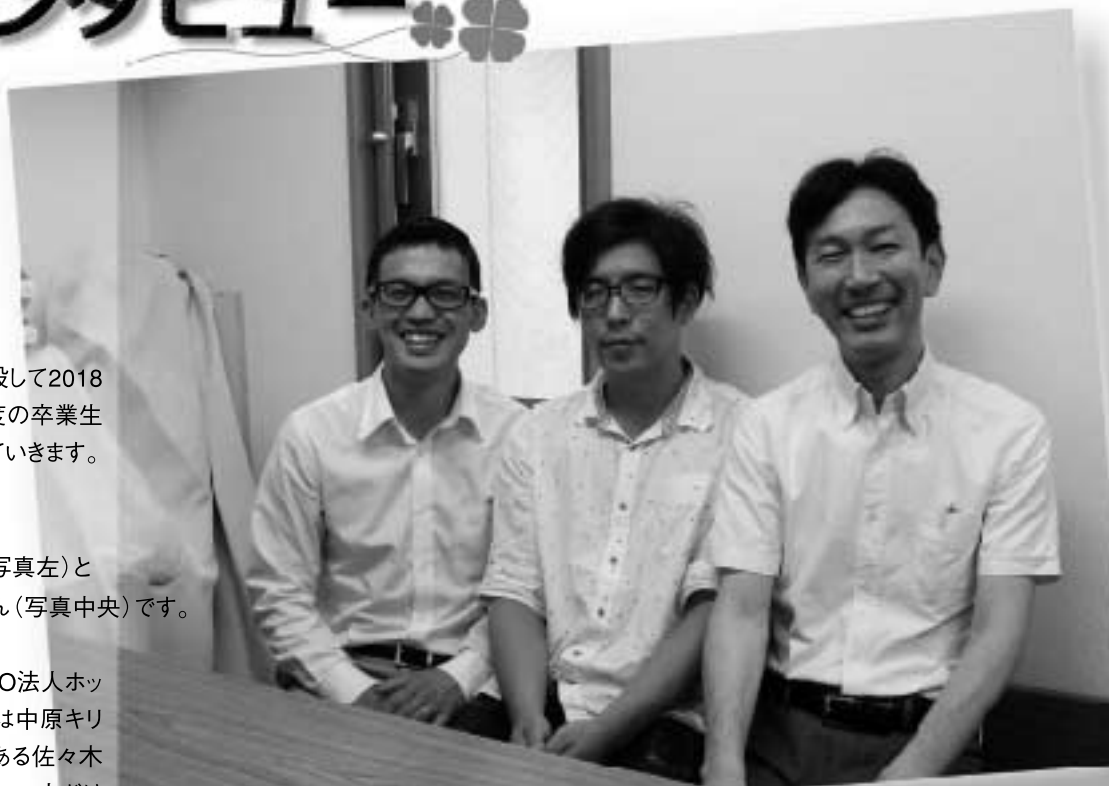
# 卒業生インタビュー

## キリスト教福祉学専攻 開設10周年記念 卒業生インタビュー Part-2

2008年にキリスト教福祉学専攻を開設して2018年で10周年を迎えましたので、今年度の卒業生インタビューは同専攻卒業生を特集していきます。第二弾は1期生のお二人。

伊藤安司(いとうやすし)さん(写真左)と  
小泉 星(こいずみじょう)さん(写真中央)です。

現在二人は神奈川県川崎市にあるNPO法人ホツとスペース中原で働いています。代表は中原キリスト教会牧師でTCU非常勤教員でもある佐々木炎先生(写真右)。今回は、卒業生のお二人だけではなく先輩職員や利用者さんにもお話しをお聞きました。



## Interview

**現在のお仕事について  
教えてください。**

**伊藤** 私は高齢者の方の訪問介護を主に担当しています。サービスマネジメントとして働いています。そして今年の4月からインマヌエル深川キリスト教会の伝道師としての任命を受けて教会での働きもしています。また、家庭では、ホツとスペース中原で社宅として借りている場所で里親(※)もしており、3年前から里子と共に生活をしています。里子と言っても彼は今年29歳になった青年です。  
**小泉** 私は障がい者グループホーム「ちいろば」で働いています。ホツとスペースで働き2年になりますが、その前は同じ川崎市にある別の障がい者グループホームで働いていました。今年の夏にサービスマネジメントという立場に就く予定です。

※里親制度とは、さまざまな事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもたちを、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境の下で養育する制度。

**ホツとスペース中原で  
働いて良かったこと**

**伊藤** この理念は、福音の分かち合い、二人一人の幸せを願うというものです。炎先生がその理念を下げないでスパーバイズしてくださるので

働きがいがありますし、そこから自分自身も成長できていると感じています。

**小泉** ここで働き始めた最初に炎先生から言われたことは「みんなの友達になつてください」ということでした。イエス様が友達になつてくださいというように、支援者と利用者という縦関係ではなく横関係で寄り添うことを重視しています。大切な友達という視点を持つことで寄り添って関われると思います。

**伊藤** 人間同士として、ケアしてケアされるというお互いに関わり合うことができる関係がありますね。

**小泉** それから、日曜日の礼拝を大事にさせてくれます。福祉をする上で、自分自身が赦されているという土台に立ち続けることは大事だと感じています。

**TCUでの4年間は、  
どんな  
4年間でしたか？**

**小泉** 入学当初の自分とはつきり言うて信仰を失っていました。福祉をしたかと思つていましたので大学を辞めることはしませんでした。が、つらかったです。ただ、3年生になって信仰に向き合うことができ、信仰を回復させることができました。大学生活は不安定で辛い経験が大半でしたが、今振り返ると、障がいのある人や様々な痛みを抱えている人の気持ちを



る経験になったと思います。

**伊藤** 在学中はできる限り地域にコミットしたいと思っていて、シオン祭準備委員をした時に、大学の近くにあり印西市立船穂中学校吹奏楽部の演奏を招いたり、東京電機大学とのコラボレーションを企画したりしました。それまでのシオン祭には無かったことでしたが、それができたのはTCUに福祉があったからだと思いました。また、寮生活では、人間と人間が向き合うことを教わりました。福祉を学んでいるので寮での人間関係から深く学ぶことができたと思います。

**福祉の現場で働きながら、クリスチャンとして考えることは？**

**伊藤** イエス様がまず無力になって人間になってくださったということ、つまり、神学の部分をもっと学びたいと思うようになり、所属教団の神学校で学びました。「人を尊者として寄り添ってくださったイエス様」という福祉の実践と神学の学びとがもっと密接に関わり合うべきだと感じています。

**小泉** 私も同じように、実践と神学という部分ですね。やはり現場では葛藤や悩みがあります。利用者の方から誹謗中傷されると向き合いたくない、許したくないという思いに駆られます。ところが通勤中に頭に浮か

んでくるのが多額の借金を赦されたしもべのたとえだったり。自分は多く赦されているのに赦せない。そのように現場と聖書との間で悩む時がたくさんあるんですよ。そういう学びができたら大きな助けになると思います。

**今後のゴジモン・夢ユング**

**伊藤** 今年教会の伝道師として任命を受けた際に教団の年会でお話したことは、福祉という分野で、苦しんでいる人たちとともに歩みながら神の国を建て上げたいということでした。そして当面の伝道師としての役割は各教会の牧師のサポートです。牧師がきちんと休日を取り、家族サービスや休息の時間を保てるようにサポートしたいと思っています。また、6月には里子が洗礼を受けることになりました。私が伝道師として初めて洗礼を授けます。様々な辛いことを経験した彼がイエス様に出会い信仰決心に至ったことは、本当に感謝です。そして彼に、洗礼を受ける際の証人を誰に頼みたいかと尋ねると、小泉星くんに頼みたいと言ったんです。星くんが彼ととても良く交わってくれているのが感謝です。そのように今与えられている関係性を大切にしたい、先のことは委ねていきたいと思っています。

**小泉** 私が障がい者福祉を志したきっかけは、TCUの授業で見た石井肇

子(※)の映画の中で出会った言葉でした。それは、夫である石井亮二が臨終の際に妻肇子に言った言葉で、「私たちが彼らに与えていると思っっているけれど、私たちが彼らに与えてもらっていることを忘れてはいけません」という言葉でした。ですから私も彼らから学びたいと思っています。彼らとは

てもピュアです。そのピュアさに本当に感動します。将来のことは彼らから学ぶことの先にあると思います。


※石井肇子：明治期に知的障がい者福祉に生涯をさげたキリスト者。「福祉の母」と言われている。

今回は先輩職員にもお話を聞きました。

**福正 大輔さん**  
(ホットスペース中原「ちいろば」主任)

TCU出身のスタッフは偏見とかバイアスとかが一般的な人に比べてフラットで、差別をしないという印象があります。当たり前のようにそれをしている。TCUの特長だと思えますね。実習生でも、ご利用者の人生や心の中にふっと近づいていける。自分が実習生の時はできませんでした。

続いて「ちいろば」の利用者Sさんからもお話を聞きました



星さんたちを見ていて、クリスチャンの人たちは僕たちと同じように悩んだり、もがいたりしているけど、一番大切な部分が渴いていないと感じます。それがもしかしたら神様とか周りの人たちに満たされているということなのかなと。それから、悩んで道を探している過程が、それを見ている僕たちに影響を与えています。俺だけじゃないんだって。将来は僕も、星さんや安司さんたちのように福祉の道に進みたいと思っています。

## 2017年度決算・2018年度予算概要報告

事業活動収支計算書(2017年4月1日～2018年3月31日)

単位:円

		科目	予算額	決算額	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	202,499,000	198,961,316	3,537,684
		手数料	3,182,000	3,153,468	28,532
		寄付金	70,000,000	94,674,801	-24,674,801
		経常費等補助金	168,629,000	162,124,000	6,505,000
		付随事業収入	104,324,000	84,688,526	19,635,474
	事業活動支出の部	雑収入	2,704,000	18,657,613	-15,953,613
		教育活動収入計	551,338,000	562,259,724	-10,921,724
		人件費	390,551,000	389,189,210	1,361,790
		教育研究経費	298,201,000	277,584,219	20,616,781
		管理経費	37,217,000	53,946,537	-16,729,537
教育活動外収支	収入の部	徴収不能額等	100,000	1,528,492	-1,428,492
		教育活動支出計	726,069,000	722,248,458	3,820,542
		教育活動収支差額	-174,731,000	-159,988,734	-14,742,266
		受取利息・配当金	20,000,000	7,900,506	12,099,494
		その他の教育活動外収入	0	5,037,457	-5,037,457
	支出の部	教育活動外収入計	20,000,000	12,937,963	7,062,037
		その他の教育活動外支出	0	36,565,899	-36,565,899
		教育活動外支出計	0	36,565,899	-36,565,899
		教育活動外収支差額	20,000,000	-23,627,936	43,627,936
		経常収支差額	-154,731,000	-183,616,670	28,885,670
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	9,951,965	-9,951,965
		その他の特別収入	0	1,917,000	-1,917,000
		特別収入計	0	11,868,965	-11,868,965
		資産処分差額	15,000,000	20,245,249	-5,245,249
		その他の特別支出	2,191,000	2,191,000	0
	支出の部	特別支出計	17,191,000	22,436,249	-5,245,249
		特別収支差額	-17,191,000	-10,567,284	-6,623,716
		[予備費]	5,000,000	/	/
		基本金組入前当年度収支差額	-176,922,000	-194,183,954	17,261,954
		基本金組入額合計	-29,762,000	-27,618,814	-2,143,186
当年度収支差額	-206,684,000	-221,802,768	15,118,768		
前年度繰越収支差額	-758,687,000	-758,686,244	-756		
翌年度繰越収支差額	-965,371,000	-980,489,012	15,118,012		

事業活動収入計	571,338,000	587,066,652	-15,728,652
事業活動支出計	748,260,000	781,250,606	-32,990,606

事業活動収支予算書(2018年4月1日～2019年3月31日)

単位:円

		科目	本年度予算額	前年度予算額	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	191,454,000	202,499,000	-11,045,000
		手数料	3,302,000	3,182,000	120,000
		寄付金	75,000,000	70,000,000	5,000,000
		経常費等補助金	160,048,000	168,629,000	-8,581,000
		付随事業収入	95,631,000	104,324,000	-8,693,000
	事業活動支出の部	雑収入	16,279,000	2,704,000	13,575,000
		教育活動収入計	541,714,000	551,338,000	-9,624,000
		人件費	407,418,000	390,551,000	16,867,000
		教育研究経費	288,759,000	298,201,000	-9,442,000
		管理経費	45,382,000	37,217,000	8,165,000
教育活動外収支	収入の部	徴収不能額等	100,000	100,000	0
		教育活動支出計	741,659,000	726,069,000	15,590,000
		教育活動収支差額	-199,945,000	-174,731,000	-25,214,000
		受取利息・配当金	15,000,000	20,000,000	-5,000,000
		その他の教育活動外収入	36,565,000	0	36,565,000
	支出の部	教育活動外収入計	51,565,000	20,000,000	31,565,000
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	51,565,000	20,000,000	31,565,000
		経常収支差額	-148,380,000	-154,731,000	6,351,000
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
		資産処分差額	0	15,000,000	-15,000,000
		その他の特別支出	2,191,000	2,191,000	0
	支出の部	特別支出計	2,191,000	17,191,000	-15,000,000
		特別収支差額	-2,191,000	-17,191,000	15,000,000
		[予備費]	5,000,000	5,000,000	0
		基本金組入前当年度収支差額	-155,571,000	-176,922,000	21,351,000
		基本金組入額合計	-27,462,000	-29,762,000	2,300,000
当年度収支差額	-183,033,000	-206,684,000	23,651,000		
前年度繰越収支差額	-965,371,000	-758,687,000	-206,684,000		
翌年度繰越収支差額	-1,148,404,000	-965,371,000	-183,033,000		

事業活動収入計	593,279,000	571,338,000	21,941,000
事業活動支出計	748,850,000	748,260,000	590,000

2017年度  
決算

大学の安定した財政基盤確立のためには、資産の減価償却額を含めた「基本金組入前当年度収支差額」と基本金組入額も含めた「当年度収支差額」(学校法人会計基準)を均衡させることが大切です。本学は先ずその前段階の「資金の収支」の安定的な均衡を目指しています。

2017年度はしかしながら資金が1億22百万円減となり、期末額は17億54百万円となりました。資金額全体から見て、減少額は小さな割合ではありませぬ。中長期の財務計画では、資金額は2022年度まで減り続けるものの単年度ごとの減少額を徐々に縮小し、2023年度からプラスに転じる計画です。当年度の減少額は昨年より若干改善したものの当初予定より大きな額となっています。当年度マイナスの大きな理由の二つは、年度末で保有短期有価証券の損益を実現することによる為替差損です。保有資金額に対して為替損益の影響を受けやすいことは本学の特徴でもありません。「本業」である教育活動収支は、寄付金の予算が2年続けて達成出来たことも含め、ほぼ予算通りでした。

2018年度  
予算

事業計画方針で「2023年度『資金の収支』均衡に向けた第3期中期計画初年度として、学生納付金・寄付金収入の増加、人件費・教育研究経費の適切な支出を実践し、年度末資金額が中期計画の当年度数値を下回らないよう留意する。」としています。2018年度予算の「資金の収支」はマイナス65百万円ですが、中期計画の当該年度数値はマイナス35百万円であり、予算を執行する中で30百万円の差を詰める必要があります。安定的財政基盤確立は、働きの育成を神様から託されている本学にとり喫緊の課題です。中期計画に基づいた事業計画を着実に実践し、教会と社会に仕える教育・研究の益々の充実とみこころに合った改革を進めたいと考えます。

より良い決算を目指し、財政基盤も堅固なものとしつつ、主の御手の中でこの世界・日本で教会の皆様と共に歩ませていただく学園として、福音の前進に寄与していきたく願っています。

**事業活動収支計算書** 収支を経常的なもの(経常収支はさらに「教育活動」と「教育活動外」に区分する)と特別なものに区分し、それぞれの収支状況を明らかにしています。また、毎期の収支バランスを見る「基本金組入前の収支差額」と、長期的な収支バランスを見る「当年度収支差額」の双方について、計算書類の上で明らかにすることを目的としています。

# 支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5  
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

## 新潟地区

### 講演会

新潟地区支援会

近 伸之

豊栄キリスト教会牧師

5月19日(土)と20日(日)に木内伸嘉先生をお招きして「新改訳2017」改訂作業のあらまし」と題して講演をしていただきました。19日(土)は高田聖書教会(上越市)を会場に、20日(日)は新津福音キリスト教会(新潟市秋葉区)を会場に、開催することができました。高田聖書教会では18名の参加があり、新津福音キリスト教会では33名の参加がありました。

「新改訳2017」が発行されてから約半年経過した時期の講演会でしたので、タイムリーな話題となりました。参加者の感想の多くは、翻訳や編集作業の労苦の大きさに感謝し、心して読みたい、9割も変更が加えられたのなら早く購入して読みたい、という内容でした。

本当に長年にわたる命を削るような、気の遠くなるような作業の繰り返しであったことがよくわかりました。また、参加者の関心も高く質問や意見が多く出されました。今後支援会を通してこのような講演会が開催されるようにという期待も寄せられました。



## 信南三遠地区

### TCUセミナー 2018

三遠南信地区支援会

井上 慎治

豊橋福音聖書教会牧師

当地区では、岡村直樹先生を講師としてお招きし、5月26日(土)に「ユースミニストリーの神学とコミュニケーション」、5月27日(日)に「ユース期の理解とミニストリーの実践」として、二日間のセミナーを開催しました。50〜70代の参加者が大半でしたが、「ユースミニストリーに年齢は関係ない」という岡村先生の言葉に励まされ、聖書に基づくユースミニストリーの定義、ユースが心を開く／開かないリーダーの特徴、ユースの理解などについて、共に学び、考える時となりました。

個人的に特に教えられたことは、「ユースはその人の生き方に筋が通っているかを見ている」ということでした。いつの間にか言動の一致していない大人になっていないかと反省させられたのと共に、どんな工夫やノウハウも、誠実さがあつてこそだと、気持ちを引き締めさせられました。幸いな気づきを与えてくださった岡村先生、また神様に感謝します。



## 愛知岐阜地区

### 学園デー

愛知岐阜支援会

武安 宏樹

愛宕山教会牧師

2018年5月28日に岡村直樹先生をお迎えし、名古屋福音伝道教会(日本同盟基督教団)を会場に、卒業生や関係信徒約20名が、ついで愛知岐阜地区学園デーが行われました。テーマは午前が「ユースミニストリーの神学とコミュニケーション」、午後が「ユース期の理解とミニストリーの実践」。若者の心理学的傾向と福音理解に焦点を当てながら、先生の飽きさせない講義内容で一同大満足でした。出席者数は多くなかったものの、牧会者夫妻や青年伝道スタッフが多かつたため関心が高く、講義終了後の茶菓を囲んでの交わり会では帰りの新幹線の時間ギリギリまで質疑応答が続きました。初めて出席された卒業生も多く、多くの方々と関わりが与えられたことを感謝します。新たな試みとして、前々日と前日に隣の三遠南信地区集会でも同集会が開かれ、日程が合わない方には互いの地区の集会も案内し便宜を図ることができました。





## 寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

### 所得税の寄付金控除

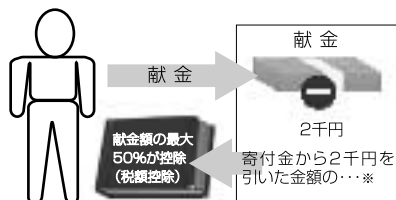
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

### 所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

### 税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。  
(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。



### 便利な定期献金のご案内

#### ●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円～

TCUウェブサイトの下「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master、JCB、AMEX、Diners対応のカード引落しによるものです。

#### ●郵便局自動引落(定期献金)月々500円～

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

#### 【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月〇〇〇〇円」をご記入ください。

## 『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2018年度(2018年4月～2019年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、5月末までに441の支援者の皆様より、797万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

## 献金感謝報告

尊いご献金とご加勢、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2018年3月1日から5月31日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。  
(敬称略)

### □ 大学献金

Global Returnees Conference / The Ark Community / 麻溝台キリスト教会 / 足立キリスト教会 / 安城中央キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 生駒めぐみ教会 / 泉野聖書教会 / 和泉福音教会 / 市川北バプテスト教会 / 市川福音キリスト教会 / 一宮福音教会 / 稲城聖書教会 / 茨木聖書教会 / 内灘聖書教会 / 浦和福音自由教会 / 枝川愛の教会 / 海老名シオンの丘教会 / 大野キリスト教会 / 近江福音自由教会 / 大井教会 / 尾久キリスト教会 / 桶川福音自由教会 / 春日部福音自由教会 / 勝田台教会 / 金沢中央教会 / 迦南教會 / 株式会社本宮建設 / 株式会社イナカン / 株式会社いなもと印刷 / 株式会社永明 / 株式会社輝 / 株式会社清水商会 / 株式会社創生ライフワークス社 / 株式会社アノア / 株式会社ムラサキスポーツ / 上大岡聖書教会 / 亀田キリスト教会 / 軽井沢キリスト教会 / 川越福音自由教会 / 岸和田東聖書教会 / 北新瀧キリスト教会 / 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 / 京都聖書教会 / 共立基督教研究所 / 共立研修センター / 同窓会 / 久我山キリスト教会 / 久喜福音自由教会 / 櫛形キリスト教会 / クライストコミュニティ / クライストコミュニティ / ミュンヘン東神戸バイバルチャペル / 久里浜福音教会 / 久留米聖書教会 / 恵泉キリスト教会 / クラリスチャペル / 下呂聖書教会 / 五香教会 / 児玉福音自由教会 / 佐倉福音キリスト教会 / 佐渡金井キリスト教会 / 三遠南信地区TCUセミナー / 静岡サニール聖書教会 / 石神井福音教会 / 自由ヶ丘めぐみ教会 / 招待キリスト教会 / 沼南キ

リスト教会 / 杉並教会 / ゼンパンゼリカル・アライアンス・ミッション / 聖書研究会 / 世田谷中央教会 / 草加福音自由教会 / 高田ファミリーチャペル / 高槻福音自由教会 / 高松シオン教会 / たまプラーザキリスト教会 / 高松学院中学・高等学校 / 筑波福音基督教教会 / 津田沼教会 / 津豊ヶ丘キリスト教会 / 東京カペナント教会 / 東京国際基督教教会 / 御キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 富山福音キリスト教会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト教会 / 取手キリスト教会 / 長津田キリスト教会 / 中野教会 / 流山福音自由教会 / 新潟地区支援隊 / 新潟福音教会 / 新潟福音キリスト教会 / 日本同盟基督教団 / 関西チャレンジャーキャンプ / 日本不動産管理株式会社 / のびのびキリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 浜田山キリスト教会 / 東久留米教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / 広島福音自由教会 / 福音バプテスト宣教師 / 福岡めぐみ教会 / 福島第一聖書バプテスト教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キリスト教会 / 船橋高根教会 / 平和台教会 / 北総警備保障株式会社 / 堂池聖書教会 / 本郷台キリスト教会 / 町田南キリスト教会 / 松戸福音教会 / 松原聖書教会 / 馬堀聖書教会 / 三島キリスト教会 / 武蔵台キリスト福音教会 / 恵みバプテスト教会 / 八街福音キリスト教会 / 八千代オノンキリスト教会 / 八千代聖書教会 / 山形第一聖書バプテスト教会 / 大和郡山めぐみ教会 / 山の上教会 / クレイスチャペル / 有限会社アーセリック / 有限会社菊地原自動車 / 与勝バプテスト教会 / 横須賀中央教会 / 横浜キリスト福音教会 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜白山道教会 / 横浜山手キリスト教会 / リビングチャペル / レインボーチャペル / 港北 / 蕨福音自由教会 / Nijiang, Clovis, Medina / Oiko, Medina Bushuru Maraka / 徐有珍 / 青木仁志 / 青木俊介 / 青木武司 / 青島恒宣 / 赤江弘之 / 昭代 / 赤坂啓子 / 浅井秀穂 / 浅井礼一 / 朝岡勝 / 浅野献一 / 足立雄飛 / 真美 / 安海和宣 / 由紀子 / 阿部伊作 / 荒井慶子 / 荒井創 / 荒木秀二

栗野英男／安藤博之・千恵／安間正道／李京爽／匿名／生島陸伸／池上王士・桃子／池田アイ／石井由紀／石原巖・敦子／石原美智子／伊藤天雄／伊藤ふさ江／伊藤正昭／伊藤義也・かおり／稲垣久和／井上人美／井上志乃／井上慎治／井上貴詞／井上智彦／井上正彦／井上洋治／由枝／今田和子／入江喜久雄・直美／入江告／入江直美／岩田順也／岩田三枝子／岩橋栄造／岩橋竜介／上江洲ジェシカ／上野峻／上原朋子／上山耕平／内野雅之・稔子／宇内千晴／遠藤潔・禎子／大恵わたる／大喜多正洋／大倉実／大越惇子／大坂ヨシア／大嶋義隆／大杉至／太田雅恵／大高市子／大手眞佐子／大野巖／大橋謙一・直子／大橋寅男／大橋秀夫／大森幹夫／岡田美子／小笠原孝／岡田雄／岡村又男・末子／岡森雅浩・ゆかり／奥川るい子／奥田有希子／奥山礼子／小笹崇代／鬼塚弘通・啓子／小野幸信／小野芳信・喜美枝／小畑正子／小町継太／小町誠一／尾山令仁／鍵谷恵子／影山範文／笠原誠規／片岡政子／加藤美千代／兼行實之・みのり／神成紀州／龜谷涼子／川崎晴美／川島敬子／神田結実子／木内伸嘉／木内雅仁／菊池実／岸幸恵／木曾良明／木田恵嗣／木下和好・恵美子／木下友子／金安信／倉沢正則・多美子／黒川知文／匿名／黒田尚子／黒水治雄／桑原淑行／河野優／小暮与作・道子／小崎啓子／児玉光・照恵／後藤玲子／後藤弘／小林清／小林充尚・壽子／小林規子／小林宮子／小宮隆雄／小山望／西大寺キリスト教会員／斎藤和己／斎藤潔・ますみ／佐川英美／佐久間章／佐久間謙介／迫田由美子／佐々木泰士／佐藤省三／佐藤良子／佐中久美子／佐野慶・由美子／佐野みどり／沢早代子／篠原基章／柴田幸十／昌子／柴田美枝子／渋谷俊雄／島田務・弥生／清水尚子／下田博文／城定千世子／鄭湖錦／鄭梅澁／田弼安／白倉まり子／白柳勝／菅沼威／菅原好江／鈴木敏雄／薄佳志子／鈴木秀夫／鈴木光男／鈴木洋子／スアノ・フランクリン／角谷稔／関野

祐二／妹尾弓子／千田由美／杣浩二／高木実／高梨雅子／高橋篤／高橋茂和・澄子／高橋重信／高橋信希・千尋／高橋宣広／高橋伸幸／高橋美穂子／高橋めぐみ／宝崎町子／武井邦夫／竹内智之・真理子／竹下悦子／竹本喜代子／武安宏樹／多胡真太郎／立山剛・裕子／田中夢子／田中恭子／谷本栄治・澄江／田淵健一郎・恵子／匿名／塚田真理子／辻智恵／匿名／辻本文子／堤崇子／天田和子／堂跡美和／徳梅陽介／匿名／歳森登喜恵／富澤歌子／富所正史／内藤真奈／永井直／長石寛／中川洋佑／麻祐／中沢久美子／長澤康男／永嶋圭二／永島信夫／長田清子／中野寛／永野則之／中野幸恵／中野れい子／長久栄子／長久裕／中山猷児／並木公子／並木孝之／西操／西村敬憲・麻利子／西山幸子／西山聖子／二瓶祥子／根本信子／根岸幸加／野口忠子／野国アルド／野本恒雄／萩原裕美／白承健／朴哲濬／蓮井智子／蓮尾英二／長谷川睦子／長谷部秀英／畑和雄／馬場千晶／早見友雄・美江／速水浩子／原豊人・千春／原裕昭・みはる／原田明美／韓在國／比嘉恵美子／東中喜彦／東畑意津子／日名信介／日吉真実／平川光宣・えり子／平塚治樹／平原まさこ／廣田具之・洋子／フィリップ・フォックス・ウエル／福井誠／福田聖志／福田真理・ミチル／藤原絹子／藤崎秀雄／藤田敦／藤田直樹／藤原真規子／藤原美佐子／古野利夫／古畑和彦・由美／フルヤヒロミツ／白まゆみ／蓬菜朱美／面鼻・あさの／星山正・英子／細見導子／堀内幸一郎／本間昭弘・芳子／本馬信義／前田倫男／牧野貞／マクドナルド・増子晴美／増淵正恵／町川洋三／松浦茂／松田信／松田有規子／松村佳子／丸山園子／丸山友子／万城紘・啓子／三浦称・聖子／三川京子／三木健／水上櫻子／水野時子／溝口昌樹／三谷康人／三原イイ／宮川活夫／宮崎泉／宮原孝夫・淑恵／宮本あゆみ／宮本京子／虫明英雄／匿名／虫明令子／毛利佐保／百村順子／森恵子／盛小根シルビア／森田和子／森田

哲也／森本文子／森本祥子／森本信幸・麻子／森本英利・好恵／森山洋子／柳沢美和子／柳下弘／藪田三保子／山内慎也・史奈／山岡勝次／山口陽一／大和昌平／山中愛子／山本和美／山本和義／横山清行／留美子／横山武／吉田日和／吉田雅尚／吉永啓次・あや子／吉永則子／吉野弘子／吉持章／吉持尽主・優香理／吉持日輪生／劉芽久美／若田部嘉代／和田紘／渡邊雅雄

大学院献金

枝川愛の教会／津豊ヶ丘キリスト教会／東京国際基督教教会／みことば福音教会／恵みバプテスト教会／盛岡みなみ教会／阿久津康彦／荒井創／新井竜治／伊藤天雄／井上慎治／岩田順也／潮田健治／宇内千晴／表川幹雄／尾山令仁／川島敬子／神田結実子／国東恵子／河野優／齋藤明夫／櫻井菊子／篠原基章／朱田珍安／田村真／長橋和彦／馬場千晶／早川佳枝／原田惟座耶・こと葉／平塚治樹／森澤朋子／山口陽一／大和昌平／山守謙／吉持尽主・優香理

教会音楽献金

自由ヶ丘めぐみ教会／湘南のぞみキリスト教会／千葉栄光教会／筑波みことば教会／パイプオルガンさんこんにちは／蓮沼キリスト教会／みふみバプテスト教会／八街栄光キリスト教会／横芝キリスト教会／新井竜治／匿名／伊藤天雄／宇内千晴／大高市子／奥川るい子／川島敬子／神田結実子／菊池実／木下和好・恵美子／君塚光治／倉沢正則・多美子／黒田尚子／篠原基章／高橋泰子／匿名／天田和子／富所正史／内藤真奈／中沢久美子／早川佳枝／溝口昌樹／匿名／山口陽一／大和昌平

夏期伝道献金

市川北バプテスト教会／新家バプテスト・キリスト教会／沼津港町教会／荒木秀／伊藤天雄／大塚円／川島敬子／神田結実子／菊池実／木下ドーラ／倉沢正則・多美

異文化実習支援献金

子／小暮与作・道子／篠原基章／宝崎町子／早川佳枝／福田和広／藤田直樹／柳沢美和子／山口陽一／山下真実／大和昌平

教会教職者志望学生奨学金基金

高崎福音キリスト教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／咸東筍／新井竜治／匿名／泉さえ／伊藤天雄／上原朋子／内山茂生・智佐江／宇内千晴／川島敬子／神田結実子／木内伸嘉／菊池実／木下和好・恵美子／倉沢正則・多美子／河野優／小暮与作・道子／小宮隆雄／佐藤良子／篠原基章／朱田珍安／高橋涉・愛子／谷口精子／塚田浩司／徳梅陽介／中川洋佑・麻祐／中山猷児／並木孝之／馬場千晶／早川佳枝／平塚治樹／本間邦／松田節子／溝口昌樹／三井平康／匿名／柳沢美和子／山口陽一／山下真実／大和昌平／山本和美

留学生奨学金基金

社会福祉法人めぐみの家／千葉二一タウソバプテスト教会／咸東筍／徐有珍／阿部伊作／匿名／伊藤天雄／宇内千晴／岡田雄／長下部昇／神田結実子／菊池実／倉沢正則・多美子／匿名／小暮与作・道子／小林宮子／篠原基章／田口倫子／田村真／塚田浩司／匿名／内藤真奈／根岸桂子／根岸幸加／藤田直樹／溝口昌樹／匿名／森恵子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口陽一／大和昌平／李榮淑

学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
〇〇一〇一五五七五六四八

# Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料  
問…問い合わせ先 申…申し込み先

## 入試情報

	第1回AO入学者選抜	第2回AO入学者選抜	推薦入学者選抜
出願期間	8/1(水)～8/13(月)必着	10/1(月)～10/25(木)必着	11/1(木)～11/12(月)必着
試験日	9/8(土)	11/27(火)	11/27(火)
合格発表	9/13(木)	12/6(木)	12/6(木)

お問い合わせ・資料請求:教務課入試担当 TEL.0476-46-1131 ウェブサイトから資料請求ができます。

## オープンキャンパス

オープンキャンパスが下記日程で行われます。是非ご参加下さい。宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラム参加者に交通費の補助を差し上げます。

**日** 8/25(土)、10/8(祝月)シオン祭、11/3(土)、12/15(土)

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、  
キャンパスツアー、模擬授業、  
学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

**問 申** 本学ウェブサイトからお申込み下さい。

教務課入試担当 TEL.0476-46-1131

## 教会教職特別セミナー

- 日** 9月3日(月)  
**講** 小山顕(関西学院 聖和短期大学 専任講師)  
テーマ 「健全な教会を立てあげるために  
～教会者の健全性を考え」
- 日** 9月17日(祝・月)  
**講** 遠藤勝信(東京女子大学現代教養学部教授、  
日本同盟基督教団牧師)  
テーマ 「聖書釈義から説教へ」
- 日** 10月1日(月)  
**講** 米内宏明(国分寺バプテスト教会牧師、日本福音同盟[JEA]  
副理事長、日本バプテスト教会連合理事長)  
テーマ 「キリストの教会を謙遜・誠実・質素に取り戻す」
- 日** 12月10日(月)  
**講** 齋藤五十三(日本同盟基督教団派遣宣教師)  
タイトル 「台湾の地域社会と神の国のミニストリー  
～台湾宣教を通じて学んだこと」

**所** 国際宣教センターチャペル

**料** 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名 ②電話 ③E-mail ④所属教団・教会名

申込締切 ①8/29(水) ②9/12(水) ③9/26(水) ④12/5(水)

**申** E-mail:fcc@tci.ac.jp Fax:0476-31-5521

## 秋学期 本郷台エクステンション

**日** 11月23日(金)、24日(土)の午前・午後

**所** 本郷台キリスト教会(神奈川県)

**講** 篠原基章(准教授)

テーマ 「『信徒』とは何か?—信徒の神学—」全4講義

詳細は、後日ウェブサイトにて公開

**問 申** 教務部エクステンション係

TEL:0476-46-1131

E-mail:extension@tci.ac.jp

本学ウェブサイトからも申込可

## 公開講座とコンサート

【公開講座】(本学キャンパス)

第2回 **日** 8月28日(火) 10:00～15:00(昼休み1時間)

**講** 大角欣矢(東京藝術大学教授)

内容 大角欣矢先生と聴く J.S.バッハ作曲 マタイ受難曲

第3回 **日** 10月15日(月) 13:10～16:00

**講** 望月裕央(聖グレゴリオの家 声楽ゼミナール講師)

内容 聖歌隊のための発声のイロハ

第4回 **日** 10月29日(月) 13:10～15:10

**講** 中山信児(福音讃美歌協会(JEACS) 副理事長)

内容 讃美歌と讃美歌集の創作現場から

第5回 **日** 11月16日(金) 13:10～16:00

**講** 桐山建志(愛知県立芸術大学教授)

宇内千晴(本学教会音楽主任)

内容 ヴァイオリン奏者から見たオルゲルビュッヒライン

【屋下がりコンサート】(本学チャペルにて・入場無料)

**日** 10月15日(月) 12:20～12:50

**講** 望月裕央(テノール) 宇内千晴(オルガン)

**日** 11月16日(金) 12:20～12:50

**講** 桐山建志(ヴァイオリン) 宇内千晴(オルガン)

【クリスマスコンサート】(入場無料)

**日** 12月14日(金) 19:00開演

**所** 本学チャペル

**問** 教会音楽アカデミー

TEL:0476-46-1131 E-mail:music@tci.ac.jp

## シオン祭中の既卒者就職相談

**日** 10月8日(祝・月) 10:00-16:00

シオン祭中に、就職を希望している本学の卒業生を対象に就職相談を実施します。希望者は事前申込をしてください。

**問 申** キャリア支援室 career@tci.ac.jp

## シオン祭 「あ!!」マタイ2:10

**日** 10月8日(祝・月) 10:00-17:00

**所** 本学キャンパス